

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No. - (事務局用)	タイトル 政策の見える化	自治体名 東京都中野区
アイデア名 (注2) (公開)	住民参画による政策形成と政策評価手法の提案 -シビックサービスデザイン-		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	Code for 中野 × 子育て環境向上委員会@中野		
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input checked="" type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数 (公開)	COG 提出時 7 名		
代表者情報	氏名 (公開)	飯沢 邦之	
メンバー情報		丸茂亜砂美、相川梓、鈴木聡子、永作千工、千種 芳幸	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。

3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)

5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。

7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2 ページ以内でご記入ください。

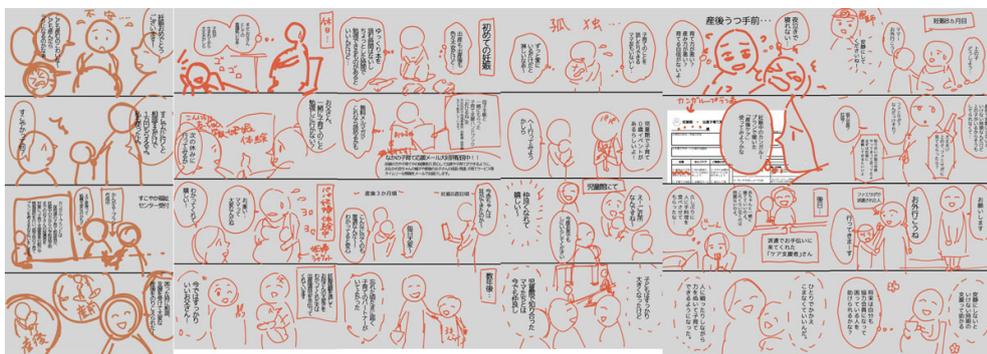
<応募チームとして解決したい課題>

- ・中野区にはよい政策があるにも関わらず、自治体のホームページの情報が分断されていてわかりにくい。
- ・出産後も安心して子供と暮らせる街づくりを目指して子育てに有益な施策を伝えたい。（サイレントマジョリティへの普及活動）
- ・行政サービスの区民目線での評価・改善の仕組みの提案。（施策の区民目線での評価）
- ・オープンデータ公開における庁内の取り組みのモチベーションとリテラシーの向上。

<解決アイデアの内容>

#### 政策の認知を目的としたメディアサイトの制作

- ・区政をサービス利用者を主人公とした 4 コマのストーリー（漫画）で伝える。
- ・具体的にどのようにしたらサービスが受けれるのか、最初に区民が必要な行動を漫画に続けてわかりやすく説明。
- ・SNS シェアなどの仕組みを提供して、ママコミュニティのネットワークを通じて政策を伝える。
- ・分野ごとの財政状況をイラストなどを用いてわかりやすく伝える。



制作中のストーリー（漫画）のラフ（アートスクール amps 講師 協力）

#### 施策のストーリーの共有について

ラフの状態ですらサービス（政策）の体験に違和感がないか、また対象となっているユーザー（ここでは子供を持つ母親）の共感を得ているかなど区民と区の間でストーリーボードを用いて協議を行なった。

#### 課題探索ためのデザイン

子育て環境向上委員会の方とのワークなどを通じて、なぜサービスが利用されにくいかなど意見もヒアリングができた。サービス利用時における不便さの改善も満足度の向上につながると考え、中野区への意見の共有と改善提案を検討する。サービス改善に役立つ機能をウェブサイトの仕様としても検討を行うなどした。

#### 区政の評価・改善提案を目的とした区民目線での政策評価

- ・区の実施するアンケートや基礎調査、調査などから PDCA を実施するためのセグメントを決める。
- ・メディアサイトに 10 段階で評価する機能をつけるなどの検討。
- ・メルマガ登録などを行い、サービス利用率などのウェブアンケートの実施。

- ・区民にとって、課題の多い政策についてはインタビューや区民アイデアソンで解決案を出して区に提案を行う。
- ・インタビューなどの定性データやアイデアソンを通じて出たアイデアを区に共有してガイドラインを作成時の目安にもらうことを目指す。
- ・メディアサイト解析を行い、注目度の高い政策などもデータとして取得する。

## 行政オープンデータ公開における関係者のモチベーション向上

### オープンデータ勉強会の実施の目的

中野区ではオープンデータの取組みが推進されているという背景があり、関係者に対してオープンデータの認知とリテラシー向上を目的とした勉強会を計画、実施した。中野区職員、中野区オープンデータの取組みに関心のある方を対象に全三回に渡り、専門家を招いてオープンデータ公開のあるべき姿を考えるきっかけづくりを行った。

### 実施内容

テーマ：区民と行政のためのオープンデータ活用

主催：中野区職員自主勉強会(NAS)と Code for 中野 共同開催

第一回 オープンデータへの期待と現在 2018年11月20日開催 イベント参加者数:50名

「基調講演 自治体オープンデータの取組みと課題」/庄司 昌彦

「オープンデータ公開に対する中野区の期待と現在」/平田 祐子/中野区 健康福祉部 副参事

「市民協働のアプリづくり」/陣内 一樹/Code for Japan 事務局長

「Code for 中野 キックオフ」/飯沢 邦之/Code for 中野

[url:https://nas-code4nakano-1.peatix.com/](https://nas-code4nakano-1.peatix.com/)

第二回 オープンデータのフォーマット 2018年12月18日開催 イベント参加者数:26名

「データ品質とIMI 共通語彙基盤の活用」/清水 響子/独立行政法人情報処理推進機構 社会基盤センター産業プラットフォーム部

「パッドオープンデータとその供養方法」/下山 紗代子/一般社団法人リンクデータ 代表理事

[url:https://nas-code4nakano-2.peatix.com](https://nas-code4nakano-2.peatix.com)

第三回 可視化（仮称） 2019年1月24日開催予定



ICTCO で実施した中野区職員自主勉強会(NAS)と Code for 中野の共同開催の勉強会の様子

## (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

### 区政を伝えるための庁内の課題（ワークの一部を掲載） 2018年12月に中野区役所にてワークを実施

- ・正確に伝えるために内容が多くなってしまう
- ・管轄ごとに担当が別れるため情報が分断されてしまうことがある
- ・区民に対して平等にニーズを聞くのが難しい（一部の区民からの意見に対しての対応になってしまうことがある）
- ・計画は10年などの長期に渡るため、過渡期の課題に対して区民に理解を求めにくい
- ・専門用語や法律用語が多く、難しい内容になってしまいがち
- ・区民に対してリーチをする手段（メディア）が限られている など

### 区民側のアイデアの評価 2018年11月から提出時まで3回のワークを実施

プロジェクトを立ち上げ時に声をかけて頂いた中野区内の子育て環境向上委員会の協力をして頂き、区政を漫画で伝える内容のプロトタイプを見て頂き、評価をもらった。

- ・子育て中のお母さんは忙しく、ホームページを見る時間がないので、わかりやすくよい
- ・漫画の内容に対する共感があり、スマホを通じてシェアされやすいのでは
- ・区の政策を伝えるサイトはテキストやリンクでの遷移が多くわかりにくいのでまとまっているサイトがいい
- ・区政のそれまでの経緯（文脈）がわかりにくい など

○保育サービスの内容に満足している保護者の割合 93.1% 前年度比0.9ポイント減（平成31年度目標値「98%」）

○必要な時に子どもを預けることができた保護者の割合 71.4% 前年度比0.4ポイント減（平成31年度目標値「100%」）

○地域子育て支援拠点事業の利用により地域とのつながりができたと考える乳幼児 保護者の割合 75.1% 前年度比3.4ポイント減（平成31年度目標値「80%」）

一時預かり事業 需要見込み延22,085人に対し、利用実績は延15,565人

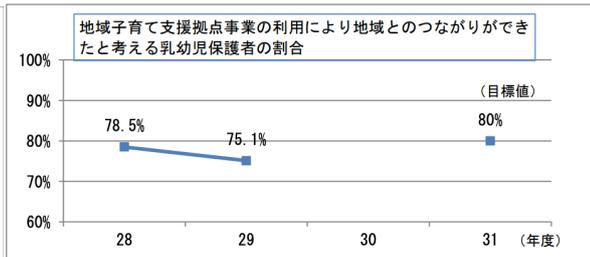
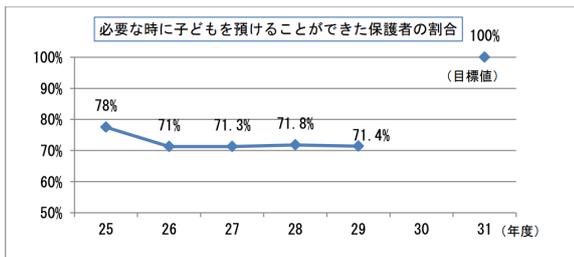
一時保育事業については確保方策15,520人に対し、利用実績は延6,646人

ファミリー・サポート事業（未就学児童）の確保方策延9,114人に対し、延8,821人の利用

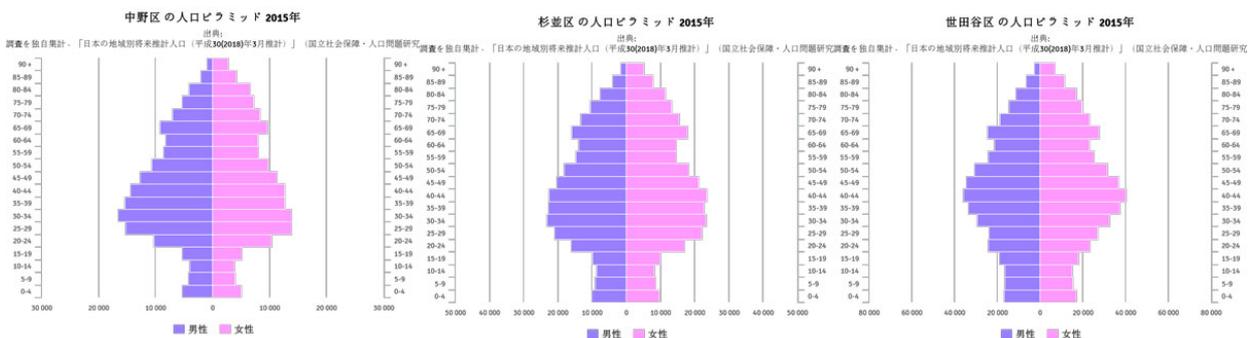
出典：中野区子ども・子育て支援事業計画資料より（中野区提供資料）

取組内容	平成28年度実績	平成29年度実績
すこやか福祉センターにおける相談・支援 <地域ケア分野>	保健師等の専門職員が子どもや家庭に関する様々な相談に応じ継続した支援を行った。	保健師等の専門職員が子どもや家庭に関する様々な相談に応じ継続した支援を行った。
妊娠期における健康診査や保健指導 <地域ケア分野> <子育て支援分野>	妊娠届出者数 3,329人 妊婦健診受診回数 41,304回 妊婦産科健診受診者数 693人 出産前産後小児保健指導 437人 こんには赤ちゃん学級参加者 1,536人 妊産期支援プラン作成 2,388件	妊娠届出者数 3,218人 妊婦健診受診回数 38,176回 妊婦産科健診受診者数 821人 出産前産後小児保健指導 428人 こんには赤ちゃん学級参加者 1,498人 妊産期支援プラン作成 2,429件
産後支援の充実 <地域ケア>	産後ケア事業実利用者数 703人 ショート 延968日 デイケア 延693日 ケア支援者派遣 延1,682時間	産後ケア事業実利用者数 667人 ショート 延1,057日 デイケア 延247日 ケア支援者派遣 延1,575時間

取組内容	平成28年度実績	平成29年度実績
さまざまな情報媒体を使用した子育て支援情報の提供 <子ども教育経営> <子育て支援>	子育て支援ハンドブック「おひるね」の発行 平成28・29年度版 25,200部 メールマガジンの配信 妊娠期や出産後の子供の月齢・年齢にあわせた育児情報や区の子育てサービスの情報を配信した。 登録数 1,682件(平成29年3月末時点) 配信回数 月齢・年齢に応じて毎日から月3回	子育て支援ハンドブック「おひるね」の配布 ※29年度は配布のみ メールマガジンの配信 妊娠期や出産後の子供の月齢・年齢にあわせた育児情報や区の子育てサービスの情報を配信した。 登録数 2,160件(平成30年3月末時点) 配信回数 月齢・年齢に応じて毎日から月3回



出典：中野区子ども・子育て支援事業計画資料より（中野区提供資料）



近隣の杉並区や子育てで人気の世田谷区と比較して、0-4,5-9,10-14歳の子供の割合が中野区は近隣の区と比較して少ないことがわかる。

カンガループランの作成など子育て環境の支援を受けられるような新しい施策が策定されている。サイレントマジョリティに対してリーチをし、施策を認知してもらい、子供を産んだ後も中野区に住んでもらうモチベーションのアップにつながることを期待している。

出典：<https://ecitizen.jp/Population/CityPyramid/13114>

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

#### 共創のプロセス：地域コミュニティのネットワークと協力したコンテンツ作成について

##### 1.各中野区コミュニティ（有識者）からのインタビューと政策のストーリー原案の作成

地域コミュニティの協力を得て有識者から政策についてのインタビューを行う。

以前からある政策について：施策を利用した際に得たよい体験から4コマのストーリーを作成する

新しく作られる施策について：インタビューやアイデアソンから得られた意見を元にストーリーを作成して、区と区民の間での協議に用いる。

##### 2.中野区の各担当者からの政策についてのヒアリング

中野区側で刷新された内容や区が新しく施行するお勧めの政策などを担当者から確認したり課題感の把握を行う。

##### 3.アートスクール協力:学生ボランティア等による協力

地域のアートスクールの協力を得て、ストーリーを漫画化して頂いた。学生には漫画作成の課題として参加をして頂き、成果物を就職活動に活かすなどのことを検討している。今後はウェブ上から協力者を募る予定もある。

##### 4.ラフを見ながらストーリーの確認

漫画は区民の「痛み」、続けて、施策を知ったきっかけと行動、施策を利用した後に「痛み」が改善された様子が描かれている。ストーリーを通じて政策を理解することで記憶に残りやすく、仕組みの理解を促すねらいがある。

##### 5.政策後の Web ページの作成と公開：Code for 中野 制作、管理

政策の中には区民から話題性が高いものが含まれるため、web ページのワイヤーフレームの状態テキストや漫画を含めた内容を区や有識者間でよく協議を行ってから、過剰に伝わっていないかなどの判断をした上で公開を行う。

##### 6.ウェブサイトを利用した政策評価の実施

サービスの認知度や満足度などの調査をウェブ上で実施する。得られたデータは区に共有を行い、施策改善に役立ててもらう。

##### 7.アイデアソンやオープンデータを利用した可視化などのワークの実施

区民側で特に課題間の強い政策に関しては、課題の背景をインタビューやデータの可視化などを通じて検証を行う。ワークの内容については十分に協議の上、公開を行う。

##### 8.中野区政策ガイドラインなどへのフィードバックの活用提案

有識者と区との間で得られたデータや知見を共有して、新しいガイドラインの作成時などに役立ててもらう。

1-8 を各政策で 2019 年以降、順次実施。

現在は子育て系の政策を中心に進めており、2018 年 12 月 COG 提出時点で 5.の段階

2019 年度に実施する子育て政策のアンケート実施の際にも区民側で得られたデータを中野区に共有を行う。

## 住民の政策立案への参画

住民はアイディアソン（区民企画）などの機会を通じて、区に住民の声を届けることが可能。住民参画による政策形成を目指している。

## 活動の原資

活動を通じて信用関係が構築できた地域のコミュニティに対してアンケートやユーザーインタビュー、プロトタイプテストなどを実施するための社団法人を設立して、企業や行政からもユーザー調査の実施を行えるように整備を進めることを検討。

## プロジェクトのスタートについて

プロジェクトはスモールスタートで実施してゆくが、将来的には様々な分析を行えるデータを収集して解析を行う。特に課題の多い施策についてはクロス分析など細かくセグメントを設定して解析を行う。取り組む施策については、フィードバックが得やすく、課題感の比較的強かった、子育て系の施策から取り組んだ。SNS 利用率の高いお母さんコミュニティのネットワークを通じて、コンテンツをシェアしてもらいたいという意図もある。

### 中野 シビックサービスデザイン UX 調査の行政サービス改善への利用

社団法人化を行い、ユーザー調査、プロトタイプテストなどの  
企業や行政からの受託を目指す



## スケジュール

2018年10月-2019年1月 NAS × Code for 中野 共同開催 オープンデータ勉強会

2019年2月 第一回子育て政策アイデアソン ガイドライン作成のための検討材料として提案を行う

2019年3月 ウェブ公開（公開時は子育て系の施策）

2019年3月以降 シニア系の政策調査開始

2019年6月 シニア系のページ公開

2019年6月 ウェブアンケート実施予定

2019年8月 第二回子育て政策アイデアソン

以降、3ヶ月周期で中野区の施策を漫画で伝えるコンテンツをアップとアイデアソンを実施。

子育て系の施策もコンテンツの準備が整い次第、定期的に更新を行う。

プロジェクト進行中に出てきた新たな課題はテーマに沿って、データを随時追加検証を行い、改善提案を行う。